



令和6年度 教育データ利活用WG実証研究校 成果発表会

美園小学校 取組報告

○令和6年度 美園小学校 学校課題研修について

研究主題	自ら課題を見つけ、生き生きと交流し、進んで解決しようとする児童の育成～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による授業改善～
研究の概要	令和5年度までのICT活用による「個別最適な学び」と「学びの自律化」の研究から、「個別最適な学び」と「協働的な学び」におけるそれぞれの課題が明らかになった。それを踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「個別最適な学び」のさらなる追求と新たに「協働的な学び」の視点を加えた指導方法の研究を行っていく。
研究の目的・目標	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点から授業改善を行い、主体的・対話的で深い学びを実現する。

○令和6年度 美園小学校 学校課題研修について

（１）「個別最適な学び」における効果的な指導方法の改善

ICT（１人１台端末）の効果的な活用により、児童の主体性が向上することが分かったが、さらにその効果を高めるためには、**「個別最適な学び」をどの学習過程において重点的に取り入れるかを考えて取り入れることが必要**である。

また、学習意欲は課題意識と結びついており、**課題意識を高めるには、児童主体の学習計画の作成や明確な基準による自己評価が重要である**と考えられる。

このように、「個別最適な学び」の適切な導入と課題意識につながる効果的な指導方法が課題である。

現状の分析と研究における課題①

○令和6年度 美園小学校 学校課題研修について

現状の分析と研究における課題②

（２）「協働的な学び」における効果的な指導方法の探求
主体性を高めるICTを活用した学習でも、「発表をしたい」という割合だけは減少を続けてしまい、ICTを取り入れるだけでは対話的な学びを実現することが難しいと分かった。

また、教員の指導観として「個別最適な学び」を意識的に取り入れる中で、学びを深めるためには「協働的な学び」が必要だと感じるが多かった。しかし、「協働的な学び」を行う際、目的意識や伝え合いの仕方等の指導が不足すると、深い学びに至ることが難しかった。

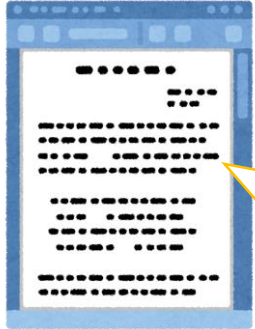
したがって、**様々な交流方法の技術的な指導と、よりよい話し合いの視点や他者との比較のポイントといった深い学びに至る指導を検討し、これを高めていく必要がある。**

○令和6年度 美園小学校 教育データ利活用の実践取組について①

視点	 【管理職】学校の教育目標の具現化に向けた児童の傾向把握と対応
状況・課題	健康観察等では表出しにくい生活面での不安や悩みなどを抱えている児童がおり、それらを自分から教員等へ相談することができない児童が多い。
目的（願い）	すべての児童の笑顔がかがやく学校にしたい。
データ項目	毎日の記録のおはよう・あすなろメーター及びSOSのおはよう・あすなろネガティブ回答アラート

○令和6年度 美園小学校 教育データ利活用の実践取組について①

〈資料と活用〉



①本校のSSDBの
利活用の内規を
作成、共有。
→各クラスでの運用
を促進



②管理職が、朝8時頃に前日の
あすなろメーターの気持ち「とても
悪い」を抽出。児童を確認し、各
担任に情報提供。

③管理職が、11時30分頃に
当日のおはようの気持ち「とても
悪い」、朝食「食べていない」、
睡眠「12時ころ」「12時より後」
をそれぞれ抽出。



④おはようメーターの気持ちの
項目を確認。給食～昼
休みに各担任に情報提供。



⑤おはようメーターの朝食、
睡眠の項目を確認。
養護教諭に情報提供。

⑥毎週木曜日午後に、SOSおはよう・
あすなろネガティブ回答アンケートを抽出
し、日々の結果と照合。
各担任に情報提供。

○令和6年度 美園小学校 教育データ利活用の実践取組について①

〈分析と対応〉



①不安等が継続している児童だけではなく、想定外の児童が否定的な回答をしていることがある。

②管理職や各担任とのコミュニケーションが増えて関係性が築かれ、回答が変容することがある。



③ささいな出来事（兄弟姉妹とけんか・友達が欠席など）により、不安な気持ちになることがある。

④保健室来室者の状況把握だけでなく、生活指導に生かすことがある。



⑤保健室だより等で、児童の実態を保護者に発信し、健康管理について啓発することができる。

○令和6年度 美園小学校 教育データ利活用の実践取組について②

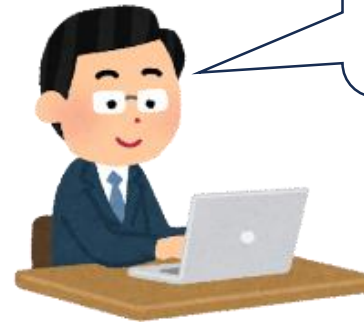
視点	 【教員】児童の心身の状態の把握と対応
状況・課題	健康観察や普段のかかわりだけでは分からない生活リズムや気持ちなどについて把握し、一人ひとりに適切に声をかけることが難しい。
目的（願い）	児童が心身共に健康に過ごすことができるようにしたい。
データ項目	毎日の記録のおはよう・あすなろメーター

○令和6年度 美園小学校 教育データ利活用の実践取組について②

状況把握

美園小学校 ○年△組 毎日の記録

おはよう気持	おはよう体調	朝食	睡眠	あ
2.良い	2.良い	1.食べた	1.9時より前	
2.良い	2.良い	1.食べた	2.10時ごろ	
2.良い	3.普通	1.食べた	2.10時ごろ	
2.良い	2.良い	1.食べた	1.9時より前	
2.良い	2.良い	1.食べた	2.10時ごろ	
2.良い	2.良い	1.食べた	2.10時ごろ	
2.良い	2.良い	2.食べていない	4.12時ごろ	
1.とても良い	1.とても良い	1.食べた	3.11時ごろ	
1.とても良い	1.とても良い	1.食べた	1.9時より前	
1.とても良い	1.とても良い	1.食べた	1.9時より前	



〇〇さんは朝ごはんも食べていないし、夜寝るのも遅いことが続いているな……。声をかけてみよう。

気分が悪い児童や生活リズムが安定していない児童に留意して

観察



面談

最近、毎日寝るのが遅いみたいだけど大丈夫？

朝ごはんも食べていないみたいだね。ゲームをやる時間を決めてみたらどうか？



ゲームにハマっていて遅くなっちゃいました。

遅くならないように気をつけます。

連絡

改善がみられない、など必要に応じて

○令和6年度 美園小学校 教育データ利活用の実践取組について③

視点	 【教員】個人のデータを個人面談で保護者と情報共有する
状況・課題	面談で保護者と共有する内容が限られていて、なおかつ教師の主観的な評価に寄ってしまう。
目的（願い）	教員の主観的な評価だけでなく、学習や生活のデータに基づく評価を共有し、具体的な指導方針を共有したい。
データ項目	個人面談〔通知表（評価・評定）、学校・生活アンケート〕

○令和6年度 美園小学校 教育データ利活用の実践取組について③

美園小学校 ○年△組 ○○ ◇◇ 個人面談ボード

通知表 評価・評定

年度	今年度							
学期	1学期				2学期			
学校名	美園小学校				美園小学校			
教科名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的	評定	知識・技能	思考・判断・表現	主体的	評定
算数	A	B	B		B	B	B	
理科	A	B	B		A	B	A	
音楽	B	B	B		B	B	B	
図画工作	B	B	B		B	B	B	
体育	B	B	B		B	B	A	
グローバル・スタディ	A	A	A		A	B	A	



教員



保護者

【学習状況の共有】

1学期に比べて、理科の主体性が伸びています。特にワークシートの取り組みがよいですね。

うちの子は理科をがんばっているのですね。

【生活状況の共有】

1学期よりも朝の気持ちや体調が安定してきましたね。

家庭で朝食をきちんと取るようにしたのがよかったみたいです。

年度	今年度												
	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	
欠席数	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
保健室来室数	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0			
おはよう気持	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆			
あすなろ気持		☆	☆	☆		☆	☆	☆	☆				
おはよう体調	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆			
あすなろ体調		☆	☆	☆		☆	☆	☆	☆				
朝食	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆			
就寝	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆			

【学校・家庭での支援の検討】

新学期が始まってすぐは気持ちが不安定になるようなので、御家庭でも声掛けをお願いします。

○令和6年度 美園小学校 教育データ利活用の実践取組について④

視点	 【教員】単元末における学習理解度の把握と次単元への支援・手立ての発見
状況・課題	個の学習をやる上で、最終的な児童生徒の学習理解度を把握して評価したり、次単元の学習へつなげたりすることが難しい。
目的（願い）	児童が個の学習を充実させ、自信をもって学習できるようにしたい。
データ項目	授業アンケート（選択回答項目〔主体・達成・意欲〕、自由記述）

○令和6年度 美園小学校 教育データ利活用の実践取組について④

美園小学校 ○年△組 毎日の記録（授業アンケート）



違う立場で考えることができるね。

主体性	達成	意欲	自由記述
できた	1.できた	1.楽しみだ	私は放送局の人たちが、朝から晩まで、情報が間違っていないか、ニュースの構成を考えていることが心に残りました。マスメディアの情報は私たちのくらしに大きく影響していることがわかりました。情報を受け取る私たちもその情報が本当か嘘かを見わけること、情報を発信するときには、本当の情報を伝えること、多くの情報源を使って、情報を取り入れることが大切だとわかりました。
できた	1.できた	1.楽しみだ	わたしは放送局の人たちがわたしたちの安全のため24時間仕事をしていてくれるところが心に残りました。マスメディアの情報は、わたしたちのくらしに重要なことだとわかりました。情報を受け取るわたしたちもマスメディアを支えることが大切だとわかりました。
できた	1.できた	1.楽しみだ	私は、放送局の人たちが生活に役立つ情報を視聴者に届けていることが心に残りました。マスメディアの情報は、私たちの暮らしに必要とわかりました。情報を受け取る私たちも正しい情報を見つけることが大切だと思いました。
できた	1.できた	2.少し楽しみだ	私は放送局の人たちがニュースを作るまでにほぼ1日中かけて作成や練習し、本番の放送をすることが心に残りました。



どんなくらしに関わってると思いますか。

自由記述を中心に内容が理解できているかを把握

どうしたらもっと楽しみになる？



どうしてそんなに時間をかけるのかな？



達成度の低い児童に声かけ、内容のフォローアップ

次単元
個の調べ学習中に
机間指導

個別最適・協働的な学習の授業を行った後の
教員の状況把握にもつながる

○令和6年度 美園小学校 教育データ利活用の実践取組について⑤

視点	 【教員】授業時間ごとの児童一人ひとりの学習理解度・つまづきの理解と把握、次時の導入で行う既習事項の確認への活用
状況・課題	タイピングやアウトプットのスピードに差があり、ふりかえりの量・質ともに個人差が著しい。
目的（願い）	児童が、習慣的に自身の学習を振り返り、次時に活かすことで、自己の学習を調整できるようにしたい。
データ項目	授業アンケート（選択回答項目【主体・達成・意欲】、自由記述）

○令和6年度 美園小学校 教育データ利活用の実践取組について⑤

美園小学校 ○年△組 毎日の記録（授業アンケート）

〈主体性〉 〈達成〉 〈意欲〉 〈自由記述〉

1.できた 1.できた 1.楽しみだ

井沢弥惣兵衛は、村ごとに工事の範囲を決めてみんな同時に行ったり、星川と合流させて、約20kmほる量を減らしたり、水量の多い利根川から水を引いたり、雨や農作業の少ない時期に、工事を行ったことが分かりました。次は、井沢弥惣兵衛がさらに工夫したところを詳しく調べていきたいです。

弥惣兵衛の行った工夫をしっかりと理解できている。

定着させたい事項は習得しているので、「それを自分の言葉で言い換えてみるとどうかな？」と声掛けする。

1.できた 1.できた 1.楽しみだ

今回の社会の授業では、井沢やそべえがどうやって5ヵ月ほどで見沼代用水の工事を完成させたのかを調べ、村ごとに仕事を分担して同時にみんなで工事したり、星川と見沼代用水を合流させて川を掘る距離を短くしたり、水の量が多い利根川から水を引いたり、農作業が比較的に少なく水も使わない時期に工事したりして、いっぱい工夫して工事をなるべく短期間で行ったということが分かってよかったです。次も、もっと井沢弥惣兵衛がした工夫を知りたいです。

分かったことをふまえて、自分なりに整理したことを書いている。

分かったことを自分の言葉で言い換えているので、「この学習から、次にどんなことを調べたいか考えてみよう。」と投げかける。

1.できた 1.できた 1.楽しみだ

井沢やそべえが5ヵ月で完成させた工事は、星川と合流させて新しく掘る水路の距離を短くした・村ごとに工事をする範囲を決めたり色々な工夫をして工事をしたことがわかりました。これから、なんで村の人たちが集まったのか知りたいです。

分かったことをもとに、次の学習で調べたいことを考えている。

次に学習したいことを考えているので、ふりかえりの良いモデルとして次時に示す。

1.できた 4.できなかった 1.楽しみだ

井沢やそべいは、工事を早く終わらせるために、役割分担などをしていることが、わかりました。

今日の課題が達成できず、自由記述にも分かったことが具体的に書けていない。

今日の学習内容が定着していないので、足りない部分を問いかけながら想起させたり、ノートを見ながら、書くことを伝えたりする。

☆今年度の成果と課題

成果

【おはようメーター・あすなろメーター】

- 各担任及び管理職が児童とコミュニケーションをよくとるようになるとともに、児童の状況を把握する機会が増えた。
- 健康観察だけでは把握できない児童の心身の状態を確認することができた。
- 気分や体調が悪い児童の様子を注意深く見ることができた。

【個人面談ボード】

- 客観的なデータに基づく児童の成果・課題をもとに、児童への支援を保護者とともに検討することができた。
- あすなろメーターなどのデータから児童の生活における課題を把握し、保護者と共有することができた。

【授業アンケート】

- 授業後その日の内の一覧で児童の理解度を確認するとともに、児童一人ひとりの理解度の大体の把握もすることで、個に応じた声掛けができた。
- 理解が不十分な内容については、次時で再度学習させてフォローアップすることができた。

☆今年度の成果と課題

課題

【おはようメーター・あすなろメーター】

- 児童全員の入力できていないため、把握が一部になっている。
- 担任、学年主任、管理職等が、さらに効果的・効率的に情報の把握と共有ができる体制をつくる。
- 児童本人や保護者への情報提供活用を促進する。
- 色表示されていない項目でも、心配な項目を選択している児童については、放課後等の時間に一兩日前後の回答傾向を確認していく必要がある。

【面談】

- SSDB上の情報を元に、学期間や学年間での情報も見る必要がある。
- おはようメーターの結果は、数値で話すと伝えやすい。
- SSDBの情報と合わせてテストの採点結果などを用意すると、伝わりやすい。
- 生徒指導や教育相談事象が発生した時、いつでも活用できるようにする。

☆今年度の成果と課題

課題

【授業アンケート】

○振り返りの視点を教師側が具体的に提示する必要がある。

⇒ 事前に綿密な教材研究を行う必要がある。

○児童の振り返りの内容を見返して、教科ごとのつながりや学びの積み重ねを意識させていく必要がある。

○ふりかえりは、量ではなく、質（授業で分かったこと、それを生かしたこと、次に何をどう学びたいか等）が大切だと意識付けしていくことが必要である。

⇒あわせて、タイピング能力の向上も目指していく。

○教師側から児童一人ひとりの振り返りに対して、どのような形でフィードバックするのが効果的か検討する必要がある。

【全体】

○膨大な教育データの処理をどのようにしていくか検討していく。

⇒AI等の利用も視野に入れていく。

☆今後の取り組み

本校研究主題である、「自ら課題を見つけ、生き生きと交流し、進んで解決しようとする児童の育成」の達成に向けて…

○教育データ利活用については、前述した成果と課題についてふりかえりをまとめ、改善策を考えていきます。

○研修の全体像

4. 校内で統一したい事項について

来年度に向けて



☆今後の取り組み

本校研究主題である、「自ら課題を見つけ、生き生きと交流し、進んで解決しようとする児童の育成」の達成に向けて…

来年度に向けて

- ・【導入】学習のめあての明確化。
- ・【展開①】児童自身で学習形態・学び方の選択。
- ・【展開②】児童自ら学びを進められる学び方カードの活用。
- ・【展開③】児童のクラウド活用。
- ・【まとめ】学びの視点を意識したふりかえり。



コーンは揃えつつ、どのアイスを載せるかは先生方次第